



助川山の保全活動を楽しく

(鈴木)

★最近の助川山での保全作業は除草が中心となり、その他年1回程度の子供達中心の植樹会が実施されることがあるなどで、このようなパターンの作業が続いている。

★植樹会では、保全くらぶで育てたクヌギなどの苗木が利用されることが多いが、グループで苗木を準備して実施されることもある。ただ、保全くらぶで「苗」を育てているのでそれを利用して貰うことあり、出来るだけ保全くらぶの苗木を使って貰うことを期待している。

★植樹場所は、おむすび池や石の池及びどんぐりの森などであるが、今までの活動でこれらの場所での植樹活動で植えられた苗は順調に成長している。

★植え付けられた苗木の成長を楽しみながら、成長に合わせ間伐したり、除草を適宜実施しており順調に成長している。

樹木の生育・除草作業を実施することで、助川山への来場者が楽しんで貰えば励みとなる。

★さて、ビオトープだが長年いろいろと工夫を凝らし思考錯誤して保全作業を行い、現在はミズバショウを中心として保全し、周囲も整備を進めてきており、来場者にも凡そのイメージは定着してきているのではと思われる。

★ミズバショウを中心に数を増やし、来場者には花の時期を楽しんで貰うと共にビオトープのイメージを定着させて行きたいものだ。

植樹地除草・園内整備作業

保全項目	実施日	作業内容	作業の様子
除草作業	9月3日 (定例)	・8月27日(火)に引き続き9月3日(火)も石の池周辺の北側の除草作業を実施した。 ・前週での刈り残しの作業だったので、早めに終わり森の教室へ戻り、前の広場の除草作業を実施した。	
	9月5日 (野草)	・ビオトープ除草作業実施。ビオトープはミズバショウの生育場所として整備が進められ着実に進んでいる。 ・赤羽根緑地から譲り受けた株を中心に、自前で種から育てた苗を時間を掛け花が見られるまで育てて行きたい。	
	9月10日 (景観)	・頂上のツツジ周りの除草作業を実施した。頂上とクヌギ広場西側と共に「助川山の顔」とも云われるツツジを今後共、きっちりと整備して行きたいものだ。 ・セメントの索道が無く、頂上からの眺めがスッキリした。	
	9月12日 (野草)	・くぬぎ広場西側のツツジ園の除草作業を実施した。9月も半ばになったが厳しい残暑での作業となった。 ・この場所は、頂上のようにツツジを育て春には花を楽しめる場所を目指しているが土壌のせい成長が遅いようだ。	
	9月17日 (定例)	・9月10日の頂上ツツジ周りの除草作業に続き、残りの除草を実施し、頂上の作業は終了した。 ・ツツジは助川山を象徴する樹木として、毎年の除草作業の成果が出て、株が大きく成長し、満開の花を楽しみたい。	

ハイキングを楽しむ

☆手軽に山歩きが出来るコースとして「助川山」は年々人気が出てきているように思う。

管理道路は車も通るように出来ているため、やや「市街地」の延長のような気分にならぬとも限らないが、頂上からは市街地や太平洋が良く見え、「山に登った気分」を味わうことが出来る。

☆若い人もやって来るが年寄りの方が多いいわれ、かなりの歳まで楽しみたい。



ネイチャーセンター改修

◆10月に入りネイチャーセンター改修工事が始まった。数年置きに工事があり、市担当部署で保全工事が計画されているようで建屋が保全され、現在まで破損等の問題は発生していない。

◆お蔭様でくらぶ員や来場者に支障等は全く無く推移している。今後もこの状態が維持されて行くことを期待したいものだ。



忘年会の開催

★まだ、忘年会の話は出ていないが、例年通り実施し、年間の活動を振り返り、また新しい年での活動の継続について語り合いたいもの。

★若い人の入会はほとんど無いので、現状は年々高齢化が進むばかりだ。

それでも年々保全活動は何とか支障なく継続されていることは喜ばしい。

★期日は今のところ決まっていらないが、例年と同じ位の時期になると思われる。

助川山の「萩ロード」

「どんぐりの森」の整備

- ★10月になると助川山の管理道路沿えに生育している萩の花が咲き、この季節になると来場者は管理道路を歩行しながら秋を代表する萩の花を鑑賞することが出来る。ひねり沢でも見ることが出来るが管理道路の方がじっくり鑑賞出来る。
- ★助川山で見られる萩は、マルバハギと云われており、北海道以外の全国の山野に分布している落葉の低木で大体10月頃に、ピンク色の花が咲き、助川山では大変馴染みのハギと云うことが出来る。



- ★石の池から頂上に向かう通路を経て下った場所に「どんぐりの森」がある。頂上に向かう通路を過ぎて下るとどんぐりの森に至るが周りに比べやや低くなっている「盆地」のような地形をしており、以前に植樹を行い、何回かの間伐を経て樹木も相当成長しており、コナラ中心の林の形が整いつつある。
- ★10月末に林床の草刈りと1部の間伐を実施した。植樹してコナラ等がかなり成長して来たので、適宜間伐を行い、「どんぐりの森」として整備して行きたい。



季節の花便り・野草班

パトロールだより

- ☆季節の野草便り
助川山では特に自生しているとは記憶していないが、この時期は、正にヒガンバナの咲く季節だ。大みかんの赤羽根地区では見られるようだが、この地方ではヒガンバナを見かける場所は少ないように見える。もっとも身近に田んぼなどが無いのでヒガンバナの生育も見られないが、この地区でも常陸太田などではどうだろうか。田んぼのあぜ道で赤い花が有ん終見られるだろうか。あまり出かけないので見られない。
- ☆季節の樹木便り
晩秋の樹木と云えば、常緑樹の他落葉樹は葉が紅葉し、山を彩った後には落葉して冬を迎える。やまざくらの紅葉が先行し、続いてコナラなどが続くが、大変目立つのはうるしの紅葉だ。葉が真っ赤になるため、遠くからも良く目立ち「紅葉の主演」とも言いたところだ。
助川山では杉や松などの常緑樹が少ないので秋のコナラやクヌギの紅葉の他



ヒガンバナ



ナカハツ

担当：(鈴木)

- ◆R5/9/8 台風13号の被害は甚大であったが、その後の改修は進んでいない。来山者からもいつ沢を歩けるようになるのかとの問い合わせを頂くが回答に苦慮している。1年たったので保全くらぶで対応可能な個所を補修し、安全を確保した上で、ひねり沢の下流部分からジグザグトレール、及びおむすび池からピクト等歩行できるよう市役所と調整したい。被害が大きいひねり沢上流部は立入禁止を継続。
- ◆おむすび池北側のクヌギの根元近くに樹液が出ており、スズメバチが群れているのでパトロール時には注意願います。
- ◆今年も強風による倒木、折枝が多数発生しており、都度処置しているが、大木の場合は定例作業時に処置するので、連絡願います。

令和6年度のパトロール計画と実施日数
担当：(梶川)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画	2	4	3	2	2	2	2	3	2	1	4	2
実施	2	4	2	2	2	1	3					
中止	0	0	1	0	0	1	0					



(陸)

★助川山ではかつて「ミズナラ」が数年前に枯れ、伐採した。他には生育しなかつたので山ではミズナラは見られなくなつてしまつた。山に来られる人達には散歩中でもミズナラを楽しんで貰いたいと考え、現在「森の教室」前の苗畑でミズナラのどんぐりを蒔き苗木を育てている。

★ミズナラは落葉広葉樹で樹高は35mにも達すると云われ、幹の太さも直径2mに達するものもあるとか。ひよどり越えのところにあったミズナラもかなり枯れた。伐採された後、今、生育中の苗が大きな長年を要する。念に思つたのは大変残念に思つた。

ミズナラ

おむすび池

くらぶ内外の話題

- ◆ネットで茨城県の「おすすめの低山12選」と云うのを紹介していた。「助川山」も載っているかと期待して見てみたが、残念ながら日立市付近では、高鈴山と堅破山と高鈴山までで助川山までは「お呼び」ではなかつた。
- ◆低い方では、御前山(156m)、雪入山(345m)などで他には場所分らないが鶏足山(431m)、難台山(553m)なども場所は良く分らないが茨城県は「初心者に最適な日帰りできる山」として紹介しているようだ。

編集後記

- ◆最近になり腰痛が慢性的になり腰が痛くなり一緒に保全作業が出来なくなつてしまった。歳も90に近くなつたのでしかたがないが一寸寂しい。
- ◆但し、一人で孤独に過ごしているわけではなく、保全くらぶの仲間とワイワイやりながら作業したり、過ごしたりすることであり